

「大きくなっても痕が残るのかな」

「重い病気だったらどうしよう…」

「どんな治療法があるの？」

子どものあざに関する不安や疑問を解消！

みやびクリニック（所在地：福岡県春日市 院長：矢加部 文）は、『子どもの「あざ」への不安がなくなる本』（矢加部 文 著）を2021年9月2日に幻冬舎メディアコンサルティングより出版いたしました。

形成外科学会、レーザー学会専門医が あざの正しい知識と治療法について分かりやすく解説！

あざには赤あざ、青あざ、茶あざ、黒あざがあり、種類やできる部位・大きさなどによって、適切な治療方法や治療のタイミングなどが異なります。

一般的に赤あざ・青あざ・茶あざはレーザー治療が基本で、症状に適した機器を使用します。

しかし、レーザー治療は回数やタイミングを見誤ると、皮膚の色が白くなる白抜け(白斑)を起こす可能性があるなど治療する医師の経験と知識がとても重要です。

また、黒あざは手術が基本ですが、広範囲の場合は複数回にわたる全身麻酔下での高度な手術が必要となります。

著者は、福岡大学病院で5年間のレーザー外来診療を経たあと、日本でも数少ない「あざの治療」に特化したクリニックを福岡県春日市で開業。10年間で延べ1万人以上のあざに悩む患者を治療してきました。本書では、あざの種類や治療方法、費用の目安などを分かりやすく解説します。



【判 型】 A5版・並製
【頁 数】 123ページ
【I S B N】 9784344934382
【価 格】 1.650円（1.500円+税）

著者プロフィール

矢加部 文（ヤカベ アヤ）

みやびクリニック 院長／日本形成外科学会専門医／日本レーザー医学学会専門医・指導医

1977年生まれ。2002年に長崎大学医学部を卒業後、長崎大学形成外科入局。長崎大学病院、長崎医療センター、福岡徳洲会病院で形成外科に勤務。日本形成外科学会専門医取得後、レーザー治療を学ぶために福岡大学病院でレーザーの外来を5年間担当し、2016年にみやびクリニックを開院。あざに悩む患者さま一人ひとりに向き合い、新生児のあざはもちろん、あざに悩む大人まで1万人以上の治療を行ってきた。

【CONTENTS】

Prologue

CHAPTER 1 子どもの体にあざ これって病気なの？

CHAPTER 2 赤あざ

CHAPTER 3 青あざ

CHAPTER 4 茶あざ

CHAPTER 5 黒あざ

CHAPTER 6 あざ治療後の注意点

Epilogue